



2026年6月19日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代表取締役社長 工藤 智昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問 合 せ 先 管理部 部長 佐藤 直樹
(TEL. 03-5909-8177)

「第16回定時株主総会兼普通株主様による種類株主総会招集ご通知」
および「第16回定時株主総会資料」の訂正について

「第16回定時株主総会兼普通株主様による種類株主総会招集ご通知」および「第16回定時株主総会資料」について、記載内容に一部訂正すべき事項がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

1. 訂正箇所（訂正箇所は下線を付して表示しております。）

- (1) 招集ご通知 15-16 ページ 定時株主総会参考書類 第3号議案 注記
- (2) 招集ご通知 22 ページ 定時株主総会参考書類 吸収合併契約承認の件
- (3) 招集ご通知 26 ページ 定時株主総会参考書類 //
- (4) 招集ご通知 36 ページ 定時株主総会事業報告 重要な親会社及び子会社の状況
- (5) 定時株主総会資料 30 ページ 金融商品に関する注記
- (6) 定時株主総会資料 35 ページ 1株当たり情報に関する注記

2. 訂正内容

(1)

【訂正前】

- (注) 1. ※印は新任の社外監査役候補者であります。
2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
 3. 稲毛裕一氏、轟幸夫氏及び佐々木義孝氏は社外監査役候補者であります。
 4. (1) 稲毛裕一氏は、会社経営に直接関与した経験はありませんが、金融機関及び事業会社における豊富な業務経験を通じて、財務・会計、内部統制及びリスクマネジメントに関する知見を有しております。これらの経験及び知見を活かし、独立した立場から当社の監査体制の強化に貢献いただけるものと判断し、社外監査役として選任をお願いするものであります。
(2) 轟幸夫氏は、上場企業の監査役として豊富な経験・識見を活かして、当社の監査等を行っていただけると考え、選任をお願いするものであります。同氏は、現在当社の社外取締役（監査等委員）であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって8年となります。なお、同氏は、過去に当社の業務執行者でない役員（監査役）であったことがあります。
(3) 佐々木義孝氏は上場会社の役員としての豊富な経験・識見を活かして、当社の監査等を行っていただけると考え、選任をお願いするものであります。同氏は、現在当社の社外取締役（監

- 査等委員)であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって5年となります。
5. 当社は、轟幸夫氏及び佐々木義孝氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に定める損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。両名の選任が承認された場合、当社は改めて両名との間で同様の契約を締結する予定であります。また、稲毛裕一氏の選任が承認された場合には、同氏との間で同様の契約を締結する予定であり、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。
 6. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しており、2026年7月に同契約を更新する予定です。当該保険契約により、各監査役がその職務の執行に関し損害賠償責任を負った場合における損害等を填補することとしております。各監査役候補者が監査役に選任され就任した場合には、いずれの監査役も本契約の被保険者となる予定です。
 7. 当社は、轟幸夫氏及び佐々木義孝氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。両氏の選任が承認された場合には、引き続き独立役員とする予定であります。また、当社は、稲毛裕一氏の選任が承認された場合には東京証券取引所の定めに基づく独立役員とする予定であります。

【訂正後】

- (注) 1. ※印は新任の監査役候補者であります。
2. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
 3. 稲毛裕一氏は社外監査役候補者であります。
 4. (1) 稲毛裕一氏は、会社経営に直接関与した経験はありませんが、金融機関及び事業会社における豊富な業務経験を通じて、財務・会計、内部統制及びリスクマネジメントに関する知見を有しております。これらの経験及び知見を活かし、独立した立場から当社の監査体制の強化に貢献いただけるものと判断し、社外監査役として選任をお願いするものであります。
(2) 轟幸夫氏は、上場企業の監査役として豊富な経験・識見を活かして、当社の監査等を行っていただけると考え、選任をお願いするものであります。同氏は、現在当社の社外取締役(監査等委員)であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって8年となります。なお、同氏は、過去に当社の業務執行者でない役員(監査役)であったことがあります。
(3) 佐々木義孝氏は上場会社の役員としての豊富な経験・識見を活かして、当社の監査等を行っていただけると考え、選任をお願いするものであります。同氏は、現在当社の社外取締役(監査等委員)であり、その在任期間は、本総会終結の時をもって5年となります。
 5. 当社は、轟幸夫氏及び佐々木義孝氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項に定める損害賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。両名の選任が承認された場合、当社は改めて両名との間で同様の契約を締結する予定であります。また、稲毛裕一氏の選任が承認された場合には、同氏との間で同様の契約を締結する予定であり、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。
 6. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締

結しており、2026年7月に同契約を更新する予定です。当該保険契約により、各監査役がその職務の執行に関し損害賠償責任を負った場合における損害等を填補することとしております。各監査役候補者が監査役に選任され就任した場合には、いずれの監査役も本契約の被保険者となる予定です。

7. 当社は、稲毛裕一氏の選任が承認された場合には東京証券取引所の定めに基づく独立役員とする予定であります。

(2)

【訂正前】

1. 本吸収合併を行う理由

(4) 成長実績が示すシナジー効果

CATSは、当社グループ参画後の約3年間で、売上約2.5倍を達成しております。今般、吸収合併によりこの成長を当社に完全に取り込み、連結業績への貢献を最大化できます。

【訂正後】

1. 本吸収合併を行う理由

(4) 成長実績が示すシナジー効果

CATSは、当社グループ参画後、継続的に成長しており、前年比では約42%の売上成長を達成しております。今般、吸収合併によりこの成長を当社に完全に取り込み、連結業績への貢献を最大化できます。

(3)

【訂正前】

1. 会社の現況

(2) 財産及び損益の状況

区 分	第 1 期 (令和 4 年 3 月期)	第 2 期 (令和 5 年 3 月期)	第 3 期 (令和 6 年 3 月期)	第 4 期 (当事業年度) (令和 7 年 3 月期)
売 上 高	29,812	306,246	409,166	581,549
営業利益及び 営業損失(△)	△27,812	104,049	138,892	220,232
当期純利益及び 当期純損失(△)	△27,817	58,224	91,834	149,650
1株当たり当期純利益及び1株 あたり当期純損失(△)	△139,089.85円	291,122.62円	<u>527,759.40円</u>	748,254.98円
総 資 産	53,405	194,359	285,390	504,797
純 資 産	△14,845	43,379	135,213	284,864

【訂正後】

1. 会社の現況

(2) 財産及び損益の状況

区 分	第 1 期 (令和 4 年 3 月期)	第 2 期 (令和 5 年 3 月期)	第 3 期 (令和 6 年 3 月期)	第 4 期 (当事業年度) (令和 7 年 3 月期)
売 上 高	29,812	306,246	409,166	581,549
営業利益及び 営業損失(△)	△27,812	104,049	138,892	220,232
当期純利益及び 当期純損失(△)	△27,817	58,224	91,834	149,650
1株当たり当期純利益及び1株	△139,089.85円	291,122.62円	<u>459,174.13円</u>	748,254.98円

あたり当期純損失 (△)				
総 資 産	53,405	194,359	285,390	504,797
純 資 産	△14,845	43,379	135,213	284,864

(4)

【訂正前】

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当 社 の 出 資 比 率	主 要 な 事 業 内 容
Geniee International P t e . , L t d .	7,012千米ドル	100.0%	広告プラットフォーム事業
Geniee Vietnam Co.,Ltd.	3,671,600千ベトナムドン	0.0% [100.0%]	広告プラットフォーム事業
PT. Geniee Technology Indonesia	3,440,750千インドネシアルピア	1.0% [99.0%]	広告プラットフォーム事業
PT. Adstars Media Pariwara	2,600,000千インドネシアルピア	0.0% [51.0%]	広告プラットフォーム事業
Geniee US Inc.	2,656千米ドル	100.0%	広告プラットフォーム事業
ソーシャルワイヤー株式会社	<u>1,017百万円</u>	49.0%	デジタルPR事業
アットクリッピング株式会社	40百万円	0.0% [42.6%]	デジタルPR事業
CATS株式会社	10百万円	100.0%	マーケティングSaaS事業
株式会社iHack	37百万円	0.0% [49.0%]	<u>マーケティング支援事業</u>

【訂正後】

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当 社 の 出 資 比 率	主 要 な 事 業 内 容
Geniee International P t e . , L t d .	7,012千米ドル	100.0%	広告プラットフォーム事業
Geniee Vietnam Co.,Ltd.	3,671,600千ベトナムドン	0.0% [100.0%]	広告プラットフォーム事業
PT. Geniee Technology Indonesia	3,440,750千インドネシアルピア	1.0% [99.0%]	広告プラットフォーム事業
PT. Adstars Media Pariwara	2,600,000千インドネシアルピア	0.0% [51.0%]	広告プラットフォーム事業
Geniee US Inc.	2,656千米ドル	100.0%	広告プラットフォーム事業
ソーシャルワイヤー株式会社	<u>100百万円</u>	49.0%	デジタルPR事業
アットクリッピング株式会社	40百万円	0.0% [42.6%]	デジタルPR事業
CATS株式会社	10百万円	100.0%	マーケティングSaaS事業
株式会社iHack	37百万円	0.0% [49.0%]	<u>デジタルPR事業</u>

(5)

【訂正前】

(金融商品に関する注記)

(3) 公正価値で測定する金融商品 公正価値で測定する金融商品の公正価値ヒエラルキーは以下のとおりであります。

(単位：千円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産				
株式及び出資金	—	—	214,160	214,160
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産				
株式及び出資金	123,432	—	31,050	154,482
デリバティブ	—	—	66,566	66,566
合計	123,432	—	311,777	435,209

【訂正後】

(金融商品に関する注記)

(3) 公正価値で測定する金融商品 公正価値で測定する金融商品の公正価値ヒエラルキーは以下のとおりであります。

(単位：千円)

	レベル1	レベル2	レベル3	合計
資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産				
株式及び出資金	—	—	214,160	214,160
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産				
その他の金融資産				
株式及び出資金	123,432	—	31,050	154,482
デリバティブ	—	66,566	—	66,566
合計	123,432	66,566	245,210	435,209

(6)

【訂正前】

(1株当たり情報に関する注記)

(1) 1株当たり親会社所有者帰属持分 806円47銭

【訂正後】

(1株当たり情報に関する注記)

(1) 1株当たり親会社所有者帰属持分 479円00銭

以上